

第3回日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム（案） 越境性感染症の現状と課題

1 日 時 : 平成27年11月6日（金） 10:00～12:30

2 場 所 : 日本医師会館大講堂（460名収容）
文京区本駒込 2-28-16 日本医師会館 1F
JR 山手線「駒込駅」南口徒歩 10 分
東京メトロ南北線「駒込駅」徒歩 10 分
都営地下鉄三田線「千石駅」徒歩 8 分

3 主 催 : 公益社団法人日本医師会 公益社団法人日本獣医師会

4 後 援 : 厚生労働省 農林水産省 環境省 文部科学省 日本学術会議

5 挨拶（10:00～10:10）:
公益社団法人日本医師会 横倉義武会長
公益社団法人日本獣医師会 藏内勇夫会長

6 講 演（10:10～12:30）:

座 長 : 森川 茂 国立感染症研究所獣医科学部長
丸山総一 日本大学生物資源科学部教授

(1) 10:10～10:30

基調講演「越境性感染症の現状と課題」（仮題）

公益社団法人日本医師会 小森 貴常任理事

(2) 10:30～11:10

「中東呼吸器症候群（MERS）の現状と対策」

国立感染症研究所第三部第四室 松山州徳室長

(3) 11:10～11:50

「獣医学領域からの SFTS（重症熱性血小板減少症候群）の解明」（仮題）

山口大学共同獣医学部獣医微生物学教室 前田 健教授

(4) 11:50～12:30

「エボラ出血熱の現状と対策」（仮題）

国立感染症研究所ウイルス第一部 西條政幸部長